

平成 年 月 日

栃木県環境森林部環境保全課長 様

届出者 住所

氏名

印

光化学スモッグ緊急時におけるばい煙排出量削減実施計画書の提出について

このことについて、栃木県光化学スモッグ対策要綱第 11 の規定に基づき実施計画を、下記のとおり届け出ます。

記

- 1 工場の名称
- 2 工場の所在地
- 3 ばい煙排出量削減実施計画の内容

別紙「ばい煙排出量削減実施計画書」のとおり

- 4 計画実施担当部課

(担当者)

(電話)

(ファックス)

(別紙)

ばい煙排出量削減計画書

工場名称
及び所在地

]

ばい煙発生施設の種別							
工場における施設番号							
保安施設又は公益性の高い施設に該当の有・無		有()無	有()無	有()無	有()無	有()無	有()無
使用期間 (月～ 月)							
ばい煙発生施設設置 (使用、変更)届出書 に記載の事項	燃料の種類						
	燃料の1時間当たりの最大使用量 (ℓ/h)						
燃料の1時間当たりの通常使用量 (ℓ/h)							
緊急時における削減計画の内容	注 意 報	燃料の1時間当たりの使用量 (ℓ/h)					
		削減率 (%)					
		その他の措置等					
削減計画の内容	警 報	燃料の1時間当たりの使用量 (ℓ/h)					
		削減率 (%)					
		その他の措置等					
	重 大 緊 急 報	燃料の1時間当たりの使用量 (ℓ/h)					
		削減率 (%)					
		その他の措置等					

「ばい煙排出量削減計画」作成上の留意事項

この計画は、光化学スモッグ緊急時対策の一環として窒素酸化物の排出量を減少させ、もって大気中のオキシダント濃度を低減させることを目的とするものですから、原則として燃料の使用量の削減で対処してください。

(削減率及び計画書の記入方法)

1. 燃料の使用量の削減率

次の事項を遵守の上、各工場の実態に即した計画を作成してください。

(1) 注意報

燃料の通常使用量の20%程度を削減するものとする。

(2) 警報

燃料の通常使用量の30%程度を削減するものとする。

(3) 重大緊急時報

燃料の通常使用量の40%程度を削減するものとする。

(注意)

ア 上記削減率の達成は、ばい煙発生施設ごと又は工場全体のどちらでも結構です。

イ 保安施設又は公益性の高い施設で、上記の削減率を達成することが著しく困難な場合は、その旨を付記の上、実施可能な削減計画を作成してください。

2. 計画書の記入方法

(1) 計画は、個々のばい煙発生施設ごとに作成の上、個々の計画につき別紙計画書に記入してください。

(2) 要綱第10中の重油換算は、重油10ℓ当たり、液体燃料は10ℓ、ガス燃料は16、固体燃料は16kgにそれぞれ相当するものとして、本計画に記入してください。

(3) その他の措置等には、燃料使用量の削減に準ずる措置を行った場合にその措置の内容を記入してください。

(別紙様式)

平成 年 月 日

栃木県環境森林部環境保全課長 様

届出者 住所

氏名 印

「栃木県光化学スモッグ対策要綱」第 11 に基づく実施計画書の提出について

標記の件について、栃木県光化学スモッグ対策要綱第 11 の規定に基づき実施計画書を下記のとおり提出します。

記

(担当部課・氏名)

(電 話)

(ファックス)

揮発性有機化合物 排出施設の種類	
揮発性有機化合物 削減の具体的 取組み	1 平常時の取組み
	2 注意報発令時の取組み
	3 警報及び重大緊急時報発令時の取組み

備考 削減方法は、具体的に記入すること。

この用紙に書ききれない場合は、明細を別紙とすること。

揮発性有機化合物排出施設の種類には、届け出を出した施設が複数ある場合は、複数記入

削減方法には、どこの生産ラインを停止させるのか、

(GR-1を停止させる等記入)

稼働ラインを縮小する場合施設における削減方法を具体的

縮小する施設番号や縮小する方法を具体的に記入

低速モードにする場合は

この場合は、施設番号と具体的な速度を記入する。

記入例

平成〇〇年 〇月〇〇日

栃木県環境森林部環境保全課長 様

①届出者 住所 栃木県〇〇市〇〇町

氏名 〇〇株式会社〇〇工場



「栃木県光化学スモッグ対策要綱」第 11 に基づく実施計画書の提出について

標記の件について、栃木県光化学スモッグ対策要綱第 11 の規定に基づき実施計画書を下記のとおり提出します。

記

- ② (担当部課・氏名) 施設管理課 栃木 太郎
(電 話) 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
(ファックス) 〇〇〇-〇〇〇-××××

揮発性有機化合物 排出施設の種類	(例) ③ 乾燥施設 (グラビア印刷)
揮発性有機化合物 削減の具体的 取組み	1 平常時の取組み (例) ④ (1) 適切な作業手順の徹底 塗料等の保管、貯蔵における揮発防止 色・粘度調整時の揮発防止 印刷機周辺の風の低減 冷却機等の起動手順、停止手順の確認 (2) VOCの少ない方法に変更 洗浄の必要性の見直し、清浄度の基準の見直し ----- 2 注意報発令時の取組み (1) 低速モードでの運転 施設や具体的な速度等を記入する。 (2) 稼動ラインの縮小 縮小する施設や縮小する方法等を記入する。 ----- 3 警報及び重大緊急時報発令時の取組み (1) 生産ラインの一時中断 停止させる施設を記入する。

「揮発性有機化合物実施計画書」作成上の留意事項

- ・ ①工場の住所、名称を記入し、押印してください。
- ・ ②実施計画の担当者の部署、名称を記入してください。
- ・ ③排出施設の種類を以下から選択し記入してください。
(乾燥施設、洗浄施設等、複数ある場合は複数記入。)
 - 乾燥施設 (化学製品の製造)
 - 塗装施設
 - 乾燥施設 (塗装)
 - 乾燥施設 (粘着テープ等)
 - 乾燥施設 (接着)
 - 乾燥施設 (オフセット輪転印刷)
 - 乾燥施設 (グラビア印刷)
 - 洗浄施設
 - 貯蔵タンク
- ・ ④貴工場・事業場にて行う取り組みを以下の1～3に区分けして記入してください。
 - 1 については、平常時に行っている VOC の管理計画との整合性をとり、記入してください。緊急時とは、光化学スモッグの注意報、警報、重大緊急時報の発令時のことであり、実施計画を2，3に記入してください。
 - 1 平常時の取組み
 - 2 注意報発令時の取組み
 - 3 警報及び重大緊急時報発令時の取組み
- ・ この用紙に書ききれない場合は、別紙添付可。